



反核・平和を願う作品

映画を通して、戦争や核兵器の悲惨さを訴え、罪のない人々が犠牲になること、大切な日常、当たり前
のささやかな幸せが一瞬にして奪われることの
哀しみを訴えます。

反核・平和を願う作品



千羽鶴 モノクロ・スタンダード 67分

監督 木村莊十二 出演 菅井美智子 加藤嘉

原爆の像を作った子ども達の活躍を爽やかに描き、未来に伝える感動の名作。

1955年、広島佐々木禎子さんが原爆症で亡くなります。クラスメイト達はこれ以上子ども達が戦争や原爆の犠牲にならないようにとの願いを込めて、原爆の子の像建設のために、募金活動を始めました。映画「千羽鶴」は実際の建設募金活動の最中に撮影されました。ロケーションは実際の建物等で行われ、“時代の記録”としても大変貴重な作品です。



千羽づる カラー・ビスタ 96分

原作 手島悠介 監督 神山征二郎 出演 倍賞千恵子・広瀬珠実 石野真子・前田吟

この映画の主人公のモデル、佐々木禎子さんは、二歳の時爆心地から二キロの地点にあった自宅で被爆しました。爆風で吹き飛ばされたものの、掠り傷ひとつ負わずにすくすくと成長しました。しかし、被爆十年後に突然原爆症の宣告を受けたのです。折り鶴を千羽折れば、病気が治ると聞いた禎子さんは、ベッドの上で仰向けに寝たままでもなお、鶴を折り続けました。



想い出のアン カラー・スタンダード 118分

原作 和田登 監督 吉田憲二 出演 山口崇 大空真弓 下条アトム ジョニー大倉 大和田獏 リー・ミッチェル ニコル・ハンフリー

二・二六事件が起き、戦争の足音が聞こえ始めた…。その時、小布施の小さな協会にも軍部の手が伸び始め二人の幼い愛は引き裂かれてしまった。

反核・平和を願う作品



ガラスのうさぎ カラー・スタンダード 105分

原作 高木敏子 監督 橋佑典 出演 長門裕之 長山藍子 蛭名由起子 大和田獏 日色ともゑ

東京両国のガラス工場。空襲が激しくなり、敏子の父は工場仕舞いにガラスのうさぎの置物を作る。3月10日の大空襲で母と妹は亡くなり、父も二宮駅で敵機の銃撃を受けて死亡する。そして、敗戦...

焼け落ちた工場跡に残されていたのは、父が作ってくれた溶けかかったガラスのうさぎだった。



まっ黒なおべんとう カラー・スタンダード 49分

原作 児玉辰春 監督 出崎哲 脚本 今泉俊昭

原爆の悲劇は、被爆して亡くなった方、傷ついた人、遺された家族それぞれの形で存在し消えることはありません。原爆資料館に展示されているまっ黒なおべんとうの話もその一つです。折免滋君は、昭和20年8月6日建物疎開の作業中、広島で被爆し亡くなりました。同じ作業をしていた広島第二中学一年生全員のほか、多くの中学生、女学校生徒も被爆して亡くなりました。その氏名は広島市の平和公園に立つ慰霊碑に刻まれています。



満蒙開拓と少年達 蒼い記憶 カラー・スタンダード 90分

原作 「シリーズ戦争」 監督 出崎哲 ナレーション 香川京子

敗戦による混乱で数々の悲劇を生んだ満蒙開拓青少年団義勇軍を描く初めての映画です。皇国のためという大義の下、故郷を離れた彼らを待っていたのは厳寒の地での過酷な生活とソ連参戦から始まる逃亡の日々でした。そして多くの少年達の命が失われたのです。

反核・平和を願う作品



うしろの正面だあれ カラー・ビスタ 90分

原作 海老名香葉子 監督 有原誠治 声の出演 三輪勝恵 若本規夫 池田昌子

この映画は落語家故林家三平師匠夫人の海老名香葉子さんが少女の頃の体験を書いた同名の児童書が原作です。東京大空襲で家族6人を失った少女が両親から受けた愛情を支えに、悲しみを振り切って絶望の中から立ち上がっていく姿を描きます。



はだしのゲン カラー・スタンダード 107分

原作 中沢啓治 監督 山田典吾 出演 三國連太郎 左幸子

中沢啓治原作の劇画「はだしのゲン」注目の映画化作品。

太平洋戦争終了時の広島を舞台に、一人の少年を通して原爆の非道さを告発した物語。この映画は少年「ゲン」が様々な困難や苦しみにめげず、持ち前のバイタリティで生き抜いていく様子を、笑いや熱い涙を交えて感動的に描いている。



はだしのゲン 涙の爆発 カラー・スタンダード 123分

原作 中沢啓治 監督 山田典吾 出演 宮城まり子 春田和秀 ケーシー高峰
市原悦子 竹下景子

はだしのゲン 涙の爆発は、終戦直後の広島市を中心に、わんぱく少年ゲンと原爆孤児達のバイタリティあふれる生き様を、第一部以上におもしろく、また、感動的に描いている。そして、差別を生み出す被爆の残酷さを告発している。

反核・平和を願う作品



ヒロシマの証人 モノクロ・スタンダード 110分

脚本・監督 斉村和彦 出演 望月優子 高毬子 山本学 磯村みどり 井川比佐志

被爆23年 苦悶しそしてたくましく生きる痛恨と感動の人間ドラマ！1945年8月、広島・長崎に投下された原爆によって命を奪われた人、死の恐怖と苦痛にさいなまれている人、生きている限り憂悶と悲しみを消すことが出来ない人など、原爆被害者達の体験と実話を収録し、被爆の実態を外側からだけでなく、内側からみつめた映画である。



TOMORROW 明日 カラー・ビスタ 105分

原作 井上光晴 監督 黒木和雄 出演 桃井かおり 南果歩 仙道敦子 黒田アーサー 佐野史郎 長門裕之 なべおさみ 原田芳雄 田中邦衛 馬淵晴子

この映画は、“今日“の続きとして来たるべき”明日“を迎えることの出来なかった人々の物語である。1945年8月9日、長崎に原子爆弾が投下され、75000名の人々が爆死。その前日の8月8日から爆弾投下直前までの長崎の庶民群像、死を運命づけられながらそれと知らず何気ない日常を生きる姿が描かれている。



八月の狂詩曲 カラー・ビスタ 97分

原作 村田喜代子 監督 黒沢明 出演 リチャード・ギア 村瀬幸子 吉岡秀隆 根岸季衣

黒澤明 注目の第30作。村田喜代子原作『鍋の中』を映画化した反核映画。クラーク役にリチャード・ギアを起用するなど話題が多かったが、反核を意図する描写は米国のマスコミを大いに騒がせた。

反核・平和を願う作品



白い町 ヒロシマ カラー・スタンダード 105分

原作 木村康子 監督山田典吾 出演 いまむらいずみ 山口崇 木暮実千代
三木のり平 橋本功 草薙幸二郎 乙羽信子

学童疎開中に広島原爆で母と姉、弟を失った主婦・木村康子の原作「白い町ヒロシマ」を映画化したもの。主人公の靖子の家庭が、戦争と原爆によって壊されていく課程を描くことによって平和の尊さを訴え、共に、平和を愛し、豊かな心を育てる教育者になろう、と決意する教師像をも描きます。



劇映画 沖縄 第一部 一坪たりとも渡すまい 75分 第二部 怒りの島 120分
モノクロ・スタンダード

監督 武田敦 出演 佐々木愛 地井武男 加藤嘉 中村翫右衛門 飯田蝶子

本土復帰前の1969年に製作上映された作品。第一部では、土地を奪われた農民達の怒りと闘いを描き、第二部では民族の自覚に燃えた怒りを主題に全編を通じて沖縄の即時無条件全面返還の闘いを描いています。



日本の青空シリーズ 渡されたバトン～さよなら原発～ カラー・ビスタ 120分

監督 池田博穂 脚本 ジェームス三木 出演 赤塚真人 渡辺梓 穴戸開

1969年、新潟県巻町の角海浜にレジャーランド開発の報が舞い込み、住民達は期待を膨らませる。ところが、北東電力が巻町に原発建設を計画していると「新潟日報」がスクープ。補助金で寂れた町が息を吹き返すと議員や町職員は大喜び。多くの町民が戸惑う中、全国初の住民投票が自主管理で実施されるのだった。

反核・平和を願う作品



あの日のオルガン カラー・ビスタ 119分

原作 久保つぎこ 監督 平松恵美子 出演 戸田恵梨香 大原優子
佐久間由衣 三浦透子 堀田真由 福地桃子 田畑智子 松金よね子 林家正蔵
夏川結衣 田中直樹 橋本功

空襲から子ども達を守るために保育園ごと疎開させる。太平洋戦争末期、53人の子どもの命を守った保母達がいた。知られざるヒロイン達の実話を映画化。



ふたりのイーダ カラー・スタンダード 99分

原作 松谷みよ子 監督・脚本 松山善三 出演 倍賞千恵子 土屋健一 原口裕子
山口崇 高峯秀子 森繁久彌 宇野重吉 協力 ひとみ座

椅子が動き、3歳の女の子や少年とおしゃべりをする...一脚の椅子と幼い兄妹の不思議な交流を通じて原爆の悲劇を訴えた童話作家・松谷みよ子氏の「ふたりのイーダ」は、1976年に映画化。人間のよな表情と動きを見せる椅子は「人形劇団ひとみ座」によって製作されました。



太陽の子でだのふあ カラー・スタンダード 142分

原作 灰谷健次郎 監督 浦山桐郎 出演 原田晴美 大空真弓 大竹しのぶ 河原崎長一郎

神戸の下町に住むふうちゃんは、まわりから愛されている小学六年生。そんなふうちゃんの心配事は、お父さんがノイローゼになり、食欲もなくなため息ばかりついていることである。父の病気の原因が、戦争と沖縄にあるのでは？と感じたふうちゃんは、もっと沖縄のことが知りたい、そして父の故郷・浜照間にいつか帰ってみたいと思うのだった。

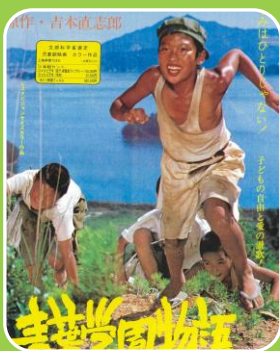
反核・平和を願う作品



長崎の郵便配達 カラー16:9 97分

監督 川瀬美香 出演 イザベル・タウンゼンド

元英空軍大佐でジャーナリストのピーター・タウンゼンドが来日して、長崎を訪れた際に出会った谷口稜嘩取材し「THE POSTMAN OF NAGASAKI」を出版。タウンゼンドの娘で女優のイザベル・タウンゼンドが長崎を巡り二人の交流と想いを紐解くドキュメンタリー。



青葉学園物語 カラー・スタンダード 103分

原作 吉本直志郎 監督 大澤豊 出演 市毛良枝 鈴木瑞穂 赤塚真人 長内美那子

敗戦後の貧しい境遇(戦災孤児収容施設)の中で、子ども達が逆境に負けず、人として一番大切な優しさや思いやり、人と人とのかけがえのルールを体得しながら成長していく姿を描いた作品。異年齢の集団環境が、子ども達の学びにいかに大きな影響を与えるか、生き生きとした子ども達の姿から感じ取れる。



エクレール お菓子放浪記 カラー・ビスタ 105分

原作 西村滋 監督 近藤明男 出演 吉井一肇 早織 遠藤憲一 高橋恵子 林隆三
いしだあゆみ 山田吾一 尾藤イサオ

未来に残したい、子どもに伝えたい、お菓子が紡ぐ希望の物語。映画「エクレール お菓子放浪記」は様々な出会いと別れを繰り返し、戦中・戦後を必死に生きていくアキオ少年の姿を通して、いわばお菓子への憧れを平和への希望までに高めた作品です。

反核・平和を願う作品



小林多喜二 カラー・スタンダード 119分

監督 今井正 出演 山本圭 中野良子 北林谷栄 佐藤オリエ 富士真奈美

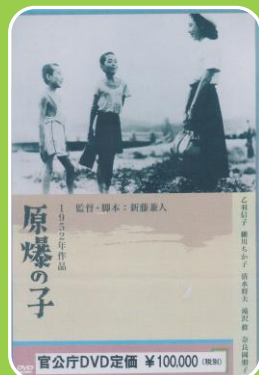
小林多喜二は、1933年2月20日東京築地署で拷問により虐殺された。享年29歳。この映画は、日本軍国主義の荒れ狂う昭和初期、その嵐に抗し、プロレタリア文学運動に献身し、厳しい弾圧の中でも、友と来たるべき時代を信じて生き抜いた彼の「フィルムによるモニュメント」である。



紙屋悦子の青春 カラー・ビスタ 113分

原作 松田正隆 監督 黒木和雄 出演 原田知世 長瀬正敏 松岡俊介 本上まなみ 小林薫

映画は病院屋上の老夫婦の回想から始まる。舞台は終戦を間近に控えた鹿児島県の田舎町。春、咲き誇る桜の木の下で二人の若者が美しく純朴な娘に恋をする。戦時下の切ない恋を現代へ蘇らせ、今を生きる人々に戦争の不条理を問いかけていく。



原爆の子 モノクロ・スタンダード 98分

脚本・監督 新藤兼人 出演 乙羽信子 細川ちか子 北林谷栄 宇野重吉 奈良岡朋子

昭和20年8月6日広島、広島に原爆第一号が落とされ、20万人を超える犠牲者を出した。広島の子供たちが綴った文集「原爆の子」をヒントに新藤兼人が脚色、監督。瀬戸内海の小島で教師をしていた孝子は、ヒロシマの原爆で肉親をすべて失った。4年ぶりに故郷を訪れた孝子が見たのは、未だ残る原爆の惨禍。そして元使用人の孫を引き取って島に帰って行く。

反核・平和を願う作品



夕風の街 桜の国 カラー・ビスタ 118分

原作 こうの史代 監督 笹部清 出演 田中麗奈 麻生久美子 吉沢悠 藤村志保 堺正章

「夕風の街」昭和33年、復興が進む広島で平野皆実は、母親フジミと貧しくとも平穏に暮らしている。

ある日、皆実は会社の同僚から愛の告白を受けるが、生き残った罪悪感を感じる皆実は幸せに飛び込んでいけない。

「桜の国」平成19年夏の東京。定年退職した旭と一緒に暮らす娘の七波は、最近の父親の行動を心配していた。旭の後をつけていくと広島に行き着く。七波は、広島で旭が立ち寄る先や会う人を見ていくうちに、家族や自分のルーツを見つめ、広島でかけがえのない瞬間を過ごしていく。



冬のリトルボーイ カラー・スタンダード100分

監督 木之下晃明 出演 柳川昌和 本田淳子 阿部百合子 上田修 丘さとみ 土屋清

ヒロシマの母の心と汗を、被爆二世の子ども達が受け継いでいく。映画は、夏に原爆を受けた被爆者の苦しみを乗り越え、冬に『いのち』を育むヒロシマの子ども達の群像を描いています。撮影は81年夏・秋のべ45日間にわたり、広島県オールロケで行われ、子役はすべて地元広島の子ども達である。



えっちゃんの戦争 カラー・スタンダード 80分

原作 岸川悦子 監督 有原誠治 声の出演 高山みなみ 坂本千夏 田原アルノ

戦争の時代をハルビンに生きた少女。命の尊さと生きる勇気を描く！1945年1月、中国・ハルビン。その頃満州と呼ばれていた現在の中国東北地方には、大勢の日本人が移り住んでいました。えっちゃん は小学一年生。当時の日本は、中国人を一段下の立場の人間として同じ人間の扱いをしていませんでした。夏、8月15日。日本が戦争に負けた事がラジオで知らされると、中国の人々の対応は一変し、日本人を襲う中国人も出てきました。えっちゃんたちには、日本引き上げまでの悲しい運命が待っていたのです。

反核・平和を願う作品



この世界の片隅に カラー16:9

原作 こうの史代 監督 片渕須直 出演 のん 細谷佳正 稲葉菜月 尾身美詞

1944年2月。18歳のすずは、突然の縁談で軍港の街・呉へお嫁に行くことになる。配給物資が減らされても、鈴は工夫を凝らして食卓を賑わせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描いて日々の暮らしを積み重ねていく。1945年3月。呉は艦載機による空襲にさらされ、すずが大切にしていたものが失われてしまう。それでも毎日はずき、昭和20年の夏がやってくる。



ヒロシマ ナガサキ最後の二重被爆者 カラー・ビスタ

監督・プロデュース 稲塚秀孝 撮影 三浦貴広稲塚秀孝 語り松崎謙三 松浦唯

二重被爆者とは・・・1945年8月6日広島、8月9日長崎に原子爆弾が投下された。広島と長崎で二度被爆した人は「二重被爆者」である。山口彊は語り遺し、語り継ぐ。

～人間の世界に核はいらない～



ムッチちゃんの詩 カラース・タンダード 100分

原作 中尾町子 監督 堀川弘道 出演 磯崎亜希子 山ノ井隆信 有川博 高林由起子 米倉斉加年

少女は、たった一人、冷たい防空壕の中でわずか12歳の生涯を閉じた。敗戦の色濃い昭和20年。主人公睦子は、父を戦争で、母と弟を横浜大空襲で失い孤児となった。遠く九州の大分に伯父伯母を頼って行くが、その二人も空襲で死んでしまう。従姉妹に巡り会えたのもつかの間、結核に冒された睦子は人々から遠ざけられ、一人で天国へと旅だったのである。小豆を入れてくれたお手玉に母を夢見て...

反核・平和を願う作品



ライオンツリーのうた カラー・ビスタ 85分

原作 たかしよいち 監督 有原誠治 出演 堀内賢雄 高森淑乃 田原アルノ

- ・ 強制連行によって北海道の炭鉱に送り込まれ、炭鉱脱出後終戦を知らずに、13年間山の中で逃亡生活が続けた一人の中国農民と、中国からの引き上げの時母を殺されて言葉を失った少女。二人の交流の中で友好と連帯感を回復していく人間賛歌のドラマです。



ラストゲーム 最後の早慶戦 カラー・スタンダード 96分

監督 神山征二郎 出演 渡辺大 柄本佑 和田光司 柄本明 山本圭 藤田まこと 富司純子 石坂浩二

65年の時を経て、今も語り継がれる伝説のゲーム そこには選手達の熱き思いと、大人たちの切なる願いがあった。禁じられた野球に、愛と情熱をかけた人々の感動の実話！

夢を諦めない若者たち...別れであると同時に、明日への希望に満ちたゲームが今、蘇る。



沖縄 うりずんの雨 カラー・スタンダード 148分

監督 ジャン・ユンカーマン 撮影 加藤孝信 東谷麗奈 音楽 小室等

戦争に翻弄されてきた沖縄の近現代史を見つめ、人々の尊厳を伝える。アメリカ人映画監督ジャン・ユンカーマンが真の平和を求め、不屈の闘いを続けている沖縄の人々の尊厳を描いた渾身のドキュメンタリー。

反核・平和を願う作品



夏の祈り カラー・ビスタ 95分

監督・撮影 坂口香津美 ピアノ 小林愛実 フルート 新村理々愛 語り 寺島しのぶ
語り継ぐこと、祈ること...ナガサキ、魂をゆさぶる真実の映像詩 ～ドキュメンタリー～

映画の主舞台である「恵の丘長崎原爆ホーム」は被爆高齢者のための日本最大規模の特別養護老人ホーム。入居者たちは、年に数度、ホームを訪れる子ども達のために、自らの被爆体験を劇にして上演する。「今のうちに被爆者の真の姿、思いを残しておきたい...」彼らの祈りともいえる映像叙情詩である。



夏少女 カラー・スタンダード 95分

監督 森川時久 脚本 早川暁 出演 桃井かおり 間寛平 矢崎朝子
坂田明(特別出演)

瀬戸内海の美しい風景に、ヒロシマに消えた「夏少女」の思いが見えてくる...瀬戸内海に浮かぶ人口三千人の小さな島に住む12歳のマモルのひと夏のふれあい...マモルの父母は、それぞれが戦争の傷跡を抱え込んでいた。マモルの前に忽然と現れた〈夏少女〉は、広島と過去をつなぐ美しい化身なのか？あるいは、原爆で命を失ったヒロシマ・ナガサキの子らの分身なのかもしれない。



戦争と青春 カラー・ビスタ 105分 平和への熱き思いを込めた全国1200名の市民プロデューサー協力

原作・脚本 早乙女勝元 監督 今井正 出演 工藤夕貴 佐野圭亮 井川比佐志
奈良岡朋子

現代の女子高校生・花房ゆかりは、夏休みの課題で、家族の空襲体験を聞くことで「炎の夜」の衝撃的な事実を知り、空襲で黒焦げになった電柱をめぐるドラマは展開する。

反核・平和を願う作品



祈り 一幻に長崎を想う刻ー カラー・シネスコ 110分

原作 田中千禾夫 監督 松村克弥 出演 高島礼子 黒谷友香 田辺誠一 村田雄浩 寺田農 柄本明

1945年8月9日11時2分、広島に次ぐ二発目の原子爆弾が長崎市に投下され、人口24万人の内約7万4千人が一瞬にして命を奪われた。東洋一の大聖堂とされた浦上天主堂も被爆し、外壁の一部を残して崩壊。それから12年の時が過ぎ、浦上天主堂跡から被爆したマリア像を盗み出す一味の姿があった。首謀者は、カトリック信者の二人の女。彼女たちは、なぜ、マリア像を盗み出さねばならないのか…？



禁じられた遊び モノクロ・スタンダード 86分

原作 フランソワ・ボワイエ 監督 ルネ・クレマン 出演 ブリジット・フォッセー ジョルジュ・プージュリー

哀愁に充ちた音楽と共に世界映画史に残る不朽の名作。第二次世界大戦中のフランス。爆撃により両親と愛犬を亡くしてしまった5歳のポーレットは、はぐれてさまよううち、出会った少年ミシェルから死んだら土に埋めるのだ、と教えられる。お墓を作り、十字架を供える遊びがすっかり気に入った二人は、十字架を集め始め、ついに教会や霊柩車からも、十字架を持ち出すようになってしまったのだ。



教育と愛国 カラー・ビスタ 107分

監督 齊加尚代 出演 語り/井浦新

今、政治と教育の距離がどんどん縮まっている。。軍国主義に流れた戦前の反省から、戦後の教育は政治と一線を画してきたが、2006年に教育法が改正され「愛国心」が戦後初めて盛り込まれた。本作は、大阪・毎日放送で20年以上にわたって教育現場取材してきた齊加尚代監督が最新の教育事情を記録した。教科書は、教育は、いったい誰のものなのか…

反核 平和を願う作品

アオギリにたくして



アオギリにたくして カラー・ビスタ 100分

監督 中村柊斗 出演 原日出子 風見しんご 斎藤とも子 渡辺裕之(友情出演)

広島で被爆したアオギリの苗を全国で植樹し始めた田中節子。世界に広がりつつあるこの活動に興味を惹かれ、取材を始めたフリーライターの千草は、節子の妹から彼女の生前の日記を預かる。そこには原爆によって左足を失った女性の苦しみが克明に綴られていた。平和の種を人々の心に蒔き続けた、実話に基づく物語。



武器なき斗い モノクロ・シネマスコープ 140分

原作 西口克己 監督 山本薩夫 出演 下元勉 渡辺美佐子 小谷悦子

東野英治郎

1929年、政府の治安維持法改悪に反対し、右翼の凶刃に倒れた労農党代議士、ヤマセンこと山本宣治の人間味溢れる生涯を描く。監督は、『白い巨塔』の山本薩夫。労働者のカンパで作られた本作は、「60年安保」が高揚した1960年、浅沼稻次郎社会党委員長がテロに倒された直後に公開され話題となった。



白旗の少女 琉子 カラー・スタンダード 61分

原作「りゅう子の白い旗」文 新川明 版画 儀間比呂志 脚本・監督 出崎哲 沖縄本島にアメリカ軍が上陸してきた。美しかった島も炎につつまれ琉子もお母さんと妹と一緒に逃げたが、途中で母と妹は直撃弾をうけて死んでしまいました。戦場をさまよい、その中で日本軍が沖縄住民にひどい仕打ちの数々を琉子は目にしてしまうのだった。